公使館南

遷の

二、海岸より海軍及び輻建の張貞は何雕欽氏に一任ずる

州に集中するを待 中は于右仁氏が國 中は子右仁氏が國

張織氏の電報

ればならぬかも知れぬ、六月の だから今迄のやうな課には行 のだから今迄のやうな課には行 のだから今迄のやうな課には行 いては別に更正像算を拓務省に いては別に更正像算を拓務省に

北交通委員會等な視察、サル日は大連から來聲、酷地地跳響旅館に大連から來聲、酷地地跳響旅館に

一日朝奉天より帰連 日朝奉天より帰連

は東北の通委員會、海陽橋站長勢

ふの

會議にて



台友三軍六萬•中央軍五十萬 萬•共產軍三

湖南省官等に侵人してなり六川一は湖南省内に入り廣東軍の一部は 人一農東軍の一部は 完州に集中して一部 ・・ある、張地軍の が を軍国の心臓のリ南がに関東軍の がない。 を軍国の心臓のリ南がに関東軍の がない。 がな。 がない。 がない。 がな。 がな。 がない。 がない。 がな。 が。 がな。 三方に敵な受ける際態第

政政府の下に秘書展、

興東討伐 民政府の下い各時間は

かさない

州に鉄着本日飛行機にて阪東に鉄を宗仁氏は昨日廣西の南海より梧

寺老公ける

を説明する程度で

ーぶりで参内

支那あちこち…

(12)

その人に案内されて実際は次のが、その人に案内されて実際は次の

2

をの一つへ還入った時 張青年 その一つへ還入った時 張青年

國杖史即

有難き御言葉を拜す

廣東國民政府成立

政府の組織は五院制度

政府の組織は南京政府同様の五院一制度な採用するに決した

組織大綱の内容

おける共新軍の討伐一

所氏孫科氏に

邊防司令長官に

張作相氏を推薦

東北軍々制を改革

大連 てCID 製造は自動車をすて、小と歩き

とた「探信小談家の中質三郎君が、 た連市を停敞した。

0

を探受し三時過ぎ返下したが公の参内は三

国上海特電二十九日豊田 野介石氏 は曜東の四総十委員の通電に野してはこれた 默鏡したが孫科氏個人ではこれた 默鏡したが孫科氏個人 忠告返電

振り関内さの概念は歌引会が驚り ・ 食器を開き東北四省と管区の関係 ・ から軍能を吹草する寄で東北四省 ・ は逸防司令長官・總括的軍制権を ・ は逸防司令長官・總括的軍制権を ・ はった。 ・ はった。

7整委員會の方針

程度により減額することに決定し 動する者の在動加像は本体と同一 特殊官吏の

備委員會にて左の

減俸實施

と同座

を開います ・ ろは一つです」さるが森島領事の一元論。 を動のサーケルに包まれて であれてでは、 であまれてです。

☆:「咻頭が

きれば 野いては を ないでした。 と 野いてはな しながでした。 でした。 でした。

さは天意も飛坊娘であ

る曹

大評判の大評判の

アごういふ

等の交渉を転繋だ…いひます? をますよ、所が城内の邦融が経 でもでしてしてしてしていってして

でです。 「外交に を ができる の二種は の二種は の二種は の一種は の一世は の一世 の一世は の一世は

行職長程学輔氏以下十二名の代表。
國民政府派遣の日本鐵道破察帳一

國府鐵道視察團

的決定までには、至つてゐない幾何節減するさいふやうな其體

らナ、日本さらてもが終地いない。 派遣、これなどは経野に認めま

要なこをではしてくれた。氏は僕よりなと よへ引っ張って行って言いグリル・ルー いりがあるのだ。その心味 三戦年下だのに三 ここ 歳年上のやうな 東の響いのからだが。
東の響いのからだが。
東の響いのからだが。
東の響いのからだが。
東の響いのからだが。 ないかな。がチョットあるまい。 上海長崎間で無事長崎についた かんやら 全國商工會議所常設委員會をお全國商工會議所常設委員會をお

からだ。と氏はいふ、日本を甘いこ見たからだ。



蛇角

H

今夏流行の百餘種を 一色と型を實物通り発表!! 一色と型を實物通り発表!! 一色と型を實物通り発表!!

を戦べらる、子供感ごとい、迷から知れないが、かうした光宝いから、分らないのは無理しない された事はが教皇會としては非の人の時上せらめる」の一項が挿入を人参政権を獲得しいる」の一項が挿入 学に不確論だからからしく いさの意見が出、

大會傍聽記

三田目の午後には安教員自身 によって組織されてゐる全國 小 によって組織されてゐる全國 小 通り可決されたのにけ苦笑を 務會報の報告だけでは、情太郎的の挨拶の他は

民の意味が 會の粉末も、前途未だ遠しさい った。總數六萬た有しながら、 の會長をいたとき、こんな總 がの會長をいたとき、こんな總 がある。

三大整理調查會

関する権給令の改正の判任待

府は右電報の新聞紙發表を禁止し

野要求を

定し二十九日 0俸給令改正 郷で最低三分さなつてゐるし被係率も均衡上大體一般

の際語に附語の上上奏御裁呼を傾った、配して信特殊管更に對してと減極適用基準は最低月経官更に對しても複極適用基準は最低月経官更に

電話架設の記畫中(奉天電話) 長距離電話

市 暗く、暗きが中に、元の陰野が在 一 監に配って発に延びてゐた。 要達は一の産院を少し勉った。 要達はその在院を少し勉った。 は、なって、でいる。 はいる。ないさいる。 なりのでは、日本政府が計画 もてるる阿片窓なのだ。他も、日本政府が計画 もてるる阿片窓なのだ。他も、日本政府が計画 もてるる阿片窓なのだ。他も、日本政府が計画。

また考慮してゐな

八平滿鐵副總裁談

0

費節約

本は支那町なのだ)の、 産業機され、1支那町なのだ)の、 産業機され、1支那町なのだ)の、 産業機され、1支那町なのだ。

八月中に設置の豫定 本 軍 北大學其他を見學し、卅日撫殿 一 日自由行動で午後三時北豐縣の上年の観さんさいふ中華民國部 で天津へはふさ【奉天電話】 で天津へはふさ【奉天電話】 で天津へはふさ【奉天電話】 で天津へはふさ【奉天電話】 で天津へはふさ【奉天電話】 で天津へはふさ【奉天電話】 で天津へはふさ【奉天電話】 で見ませう」さ8記者が云ふって見ませう」さ8記者が云ふって見ませう」さ8記者が云ふって見ませう」さ8記者が云ふって見ませう」さ8記者が云ふって見ませう」さ8記者が云ふってりまる。 でしたに大衆伝統さしての饗の 時間ないないでは、

者い記者をしてお前

けふの閣議に提出 オージャーを現で低じてゐるやう 掘り出すやうな

俸給豫算更正案

「中八日公布され六月一日より施 「中八日公布され六月一日より施 「一十八日公布され六月一日より施 「一十八日公本され一一一」 「一十八日公本され一一」 「一十八日のと、一一、 「一十八日のと、 「一十八日のと 「一十八日のと 「一十八日のと 「一十八日のと 「一十八日のと 「一十八日のと 「一十八日のと 「一十八日のと 「一十八日のと 「一十八日のと

■米州側放送 管絃樂パリトン獨唱、君が代

長崎間を

眞白の

作業脈白の代え

一週日目に陸地か踏んだ器である

かなられたとうなった。

僚艇ニ號も

る 上つたのは一萬六・米であった たは敷握に更に第二回の軽無球派 行を訳ぶしてゐるが、驚地には二 日間命在研究材料語器具を整理する はすである

庭木の盆栽の虫は

數ケ所視察 を 及び北海に配する諸國の調査に着手して 及び北海に配する諸國の調査をなる 展に西ヨーロツバ、中央アメリカ をしたが布突脈が送ば大連放送所 だしたが布突脈が送ば大連放送所 がよくでもこれな中継する事になった

家庭へ 虫齒豫防デ

五月に入つて

視察團減る

殊に學生團體が少

來月四日に大々的な宣傳 場員の子が江遊手は三等、周余膨出の男子高級二百米レースにて連続で表さらて出場した本社工 本社工場員 二百米で入選 をは四枝の帆に砂夏の競風を一杯。 長四十八呎蟹々二十順に満たね小 にランチを贈って巻焼に熱でき全 にランチを贈って巻焼に熱でき全 できる。 で 七時代「輸の島神にヨット見ゆ」
とよるで日本海々殿の信息地よろ
とくの電話が女職の信息地よろ
ちあつた、去る二十三一上ナから
「路長崎へヨットの養航を開拓す 七時代「純の島港にヨット見ゆ」

るべく目下保安保で區域を調査中

共犯關係あるらしく現績き捜査中で開始を見たが、他になほご、三の中のペンソリン事代の被告三名の

の市西區京町棚道二、今注化學研究
用イマツ雑島館ご御作気下さい。

THE THE CALL SHEET

ち

茶の御用は

て大騷ぎ 温家ご間違へ

人山本三蔵(三)は廿八日午後内八幡 四十番川滿瀬消費組

店本館街京極

園

ヨットで乗切る 所奥時間は百三十六時間餘 けさ獨艇チエ號が到着

つ、矢の様にごつて水るメーンマ ストには一色版が験へつてゐる一

前に掛つた頃秋園ランチが出動し、アメリカミドイツの蘇等にドイツ、アメリカミドイツの蘇等にドイツ

まぜわか、それ て訪問した本社

長は到着後始め一同大ニコノ 正午入港

養後消息を絶つてゐたヨットニダ 【長崎二十八日發】僚艇同様上海

共犯者一名

エクゴニン事件

7十日大道望音波信で撮合地のボベングリン事件で融合地の新文が、 一味ペングリン事件で融合地の無効が見る地の無効が見る

是家庭園

替工贷贷證 貯預

在少中村職介取締役計長尹獻任 東亞土木企業 株式會計 東亞土木企業 株式會計 東亞土木企業 株式會計 水虫特効藥 1日一回の塗布にて 際く程良く効きます

人が豊)の三氏蛇に随成フォン 電影が戦力である。 はフェーデン氏(福辺)人國際聴い がい、アンドキストが史(瑞典) かっ三氏能に随城フォン・ン 日支花柳界を

保安課長が赴奉打合

街頭の交通地獄から 通學の兒童を救ふ

ガニ十九日の天長節に米國NB 日米交驩中繼

日

學校前は自動車徐行

日本内地からの満洲視察院は毎年で可なり減少してゐるので滿鏡旅ーで可なり減少してゐるので滿鏡旅ーででは野歌と上較して。

かったが、五月に至って凞滅と殊 敷八十階標五十七百二十四人に繁 かったが、五月に至って凞滅と殊

たが、五月に至って微減し殊四両月は昨年に比し大差は無

孫氏は恐島っちとしませてかりが始めてので頼録のため乾暖中の李の妻

家人は大いに

画

鈴

嚴高荷物度

出入八人人人

楼公荥德 地带二十七町速浪 支那婚女屋と門建へ同家に飛

科 内科兒小

院醫原相

五々集って比較研究に除念がない正午からは除馬の廣告職が人気を 既に取職は五十餘、職に取職は五十餘、職に取職は五十餘、職性に及んでもので門際になって職争して来るものが續出した。 勢力してゐるが

本年は 港電機會總令及び料理広組合の処き接続の警道艦

けふ招待日として鷲開け

も賣約の赤札

明かし

十八山早慶ご

いるというでは、このではいりに

〇円地への何毗密は荷造り費は中受けず 一日(編六八〇二を) 大連市演選町二丁目(編六八〇二を) 元 副 川 崎 屋 洋 行

會葬

御禮

寺田正太郎

新遊

0

漬

本創作畵展

・ 変貌の依み時間を有効に利用した 一時満ぎ込の會場及びルーフは、 て飛ぶやうに変れて行く正午から

所で開催する筈で 日本創作點遊會既

はから入れ時の六月に昨年よりがから入れ時の六月には昨年よりがが脱版さなってゐるので、像婚れていた。 「一般」は、 「一般」が、 で清難族客様ではせめて秋のシーで清難族客様ではせめて秋のシー 教育界に於ける異動更迭等の行は
が夢生職無數の減少はその外に
に如何さもするこさは不可能であ の諸名士が織々さつの諸名士が織々さつの諸名士が織々さつ を集めてゐるので さして蓋いあけた

主風であるが會後千島丸にて祝宴 おでは來る三十一日の日曜日に夏 おでは來る三十一日の日曜日に夏 か 音数 大倉 歩行ふが當日は午前七時四十分大連縣簽列車にて出安、會数 十十分大連縣簽列車にて出安、會数 大人連邦 かんりゅう かんりゅう

九

千

九

(日曜土)

朝から殺到した觀覽者

けふは、四七一一」化粧品デー

四七一一化粧品デー」のお土産品が実験度を機管に實験する「

の質物廣告既は孤日の歌録が頭に一合「は目まぐるとい程の影響を纏ったいさ希望する熱心な人感は午盛大に穢日を離明けらた本社様上一大衆の注意を喚起して第二日目の一めた、ゆつくり質物廣告版を観回

賣れる。

小間の出品物を

質する二、三の商品は羽根が生え

- る壁の紫緑のよさ、出記物中、駅 - 入場者の手に遊つて了び、動き返 ・ 大場者の手に遊つて了び、動き返

かくて市民大衆の好命能な瞳こ、 この都存な膨した警ぶ象操こが含 場の隅から隅辺に満つて素晴らし

全市に

漲る購買慾

ブ教授の輕氣球

氷河の上に着味 ブ

新事オーツタール、アルアス山中 た、戦機ご助手はその夜水河上に ・ カース・リ・グルグルサ八日 グールシュネル水河に撤還したが ・ ストリ・グルグルサ八日 グールシュネル水河に撤還したが

人氣を集めた四七一一化粧品

を一めぐりこれない。 サービス質出しの景氣を見越し サービス質出しの景氣を見越し サービス質出しの景氣を見越し 大郎のなった。 大郎のちまひた出

ピス酸品の機

年中の家無のよさか喜ぶ店

全滿販賣網機動員のサービス賣出華やかに独口の歌を切つて落した

られてある

さ戦手古舞の急がしさに追いまく

い、購買者詫が感場を切ったやう

自轉車を盗む

全滿サービス賣出し

天氣豫執

特別奉仕週間は餘す處あと三日

六月十日まで御注文承り期間 ということに 夏上 リ等 ズボンニニ =× ツネ Ξ 九八 Ξ Ξ

付 念仕

他家の際養た物

た期も期人の

120,334.7

2,539.2

2.284.9

2,923,0

2,139,8

82.2

561.8 90.1

2.786.3

1.998.6

207.3

7.825.0

1.496.4

22.846.3

567.0

84.9

2.513.1

77.9

88.3 531.2

100,288.4 100,444.7

74E.0

125,615,2

9,681.7

1,196,9

22,455.G

1,644.1

1,019,9

384.5

669.0

57.7

22.0

266,0

1.819.5

4,502.9

1,378,2

22,030,4

1.880.0

132.6

5.762.7

度い成熟を前提する例でして日本国外投資が、資本主義の或る程

對支經濟政策

中九

IJ

力

0)

法権散設に関するも現状に鑑 主義ごして同情するも現状に鑑 ・ を補償ある」合願達的方針を 性を補償ある」合願達的方針を 性を補償ある」合願達的方針を 性を補償ある」合願達的方針を が、列図ごの関係に鑑み事項上

被放いは愈々來る六月一日より施 職中であった、憑保配格の院内出 のでは愈々來る六月一日より施 のでは愈々來る六月一日より施

一記にし

酸本主義に出てゐるこさは推測でいる。 の通会が日本な目標さらた

豆油四、一四五百中台三豆油四、一四五百中台三四二七千双合

六月から實施

日

の概怙職物官より大連職工會議所の概怙職物官より大連職工會議所

支那問題の

外務、拓務兩大臣に提出

けふ日本商工會議所代表から

支那問題高

混保豆粕の

決議文

適用に関する横竹商務官の通知

關稅擔保公債發行で

宋氏交渉を開始

を提出したる貨物に對しては落 を提出したる貨物に對しては落 を、六月一日以前輸入せるバス付 を、六月一日以前輸入せるバス付 を、六月一日以前輸入せるバス付 もの場合につきては新秋率か適 出の場合につきては新秋率か適 用せらる、即ら若し舊秋さの差 要す 鳴八千萬元の關稅據保公館を養行

一般商業十二社 ○森永製

人事課 で案が練つてある程 度にもか進んであないのであっ 度にもか進んであないのであっ をいる大分割されません。 で表が表してある。

でするに決し来子女氏は本日午後に を表すな氏は三千萬元明受 を繋むた、結公館の用途は政費を繋が、銀石館館では上版だけの引 表した、右公館の用途は政費を繋がしたに繋びるが、銀石館館では上版だけの引 ました、右公館の用途は政費を繋がしたに繋びる。 であるが廣東討伐

七九八六兩四十九八六兩四十九八六兩四

新新鈔豆

大豆(裸物 十三) ナ六三〇 大豆(裸物 十三) ナ六三〇 大豆(裸物 十三) サ六三〇 大豆(裸物 十三) 十二七〇二一五三 田來高 四十甲 曹強大豆 出來不甲 曹二六七〇三十五三 出來高 二十五百幅 高 祭 三六七〇三九〇 出來高 二車 包 米 三九〇〇三九〇 門來高 二車 TE M

◆…□本融工會談所 では「満典におけ を我國の特殊概

新新

材料區々

報受額濟計物期 手 形 引寄引寄典。

PEI · 超三三大七音

1,839,1 2.089.3 1.977.2 1.264.9 さて、髪るさころの「蚊」であるが、これはまた名跡」の名物さは形では来てゐる、陽出地にしてからが、濁田心で、本所、深心さいふさころは、蚊がゐなくなるさ 一部一部でいか句さへある。 日本概の基八の番職 一本職で 一部蔵が光年を騒か 一部でした。 でした。 そしても
の表示の変形を一の変形にでいる。 でした。 そしてその変から うな作った。 その



の白ばら

稱總資本額實 億百廿六萬餘圓 不況の折柄、可成の成績を擧げた 仕連八十三社の業績

無三分三厘である 無型、出土 (日華證券信託、 清洲不動貯金、第一無盡、基來 無盡)公傳立木線額六百七十萬 期。排送三百六十九萬五千圓、 財。申提一社有和三社にとて言 ち一社は年五分を神雷とたるも を體に於ては二十二萬五千圓。 を提に於ては二十二萬五千圓。 間、當期裝織(有利七社融援五 門滿特產)、滿溯棉花、三土藥品 門滿特產)、滿溯棉花、三土藥品 門滿特產)、滿溯棉花、三土藥品 門滿特產)、入信洋行、 一直五千圓、排弦金總額五百 八十二萬五千圓、排弦金總額五百 八十二萬五千圓、排弦金總額五百

能率をあげ得るもの 積極的

撫川、鞍山の視察から歸つた

伍堂満鐵理事語る

大連生産品に限るさ 低し右混保豆粕は

新株 二十三回 十錢 新 (配當等)

場(閑散)

本長 春 大豆 七二車 大豆 一八車 高繁 一車 豆粕 三車 豆粕 一車 電繁 二二車 種數 二一車 都級 二二車 和 二車 電線 二二車 和 二車 電線 三車 一車 電線 三車 一車 電影 三車 一車 電影 三車 五二一二車車車車

その際に信用があったから、 兵衛の変でなく

P.

ある

かか

10 IJ

川克· 记音· 记音· 以及音·

卅五六圓は近き將來 格於莊主 首藤定氏談

况介九

天 英 協 比 此

月 前場寄 前場引 大阪綿糸

為 育筋直積 鐵筋直積 緩筋直積

一の紙で人形経を腕に吊し、その経路子の脚地を送り、層から同じ色

の作間の動評をさぐらせたりこたが離れてゐて、幕府の方ではまたが離れてゐて、幕府の方ではまた

東新(引元三

中間第一大 月 月 限 1 100 1 1

られものは無

避避 步步步步 孫柱 雪 金玉 至

九六八四五五· 九六八八七六· 九六八八七六· 金

△△△△△ 五八同七四八五 八四 四八五 歩角金金飛金

◆・親爺の芝居よりと野歌だなんて幕内から熱狂するのだから興 にあまいが歌目を押たい編 - もな 入るのは極った」 ◆…南座の「壊けゆく珠」のサ が続さん薬一つ映画で見學したら が続さん薬一つ映画で見學した品ださ

幸兵衛の重さい

もう連れ合は三年前に亡くなつ

・パゲロワ無路駅、諸日十九の倫 ・パゲロワ無路駅、諸日十九の倫 ・パゲロワ無路駅、諸日十九の倫

10 學 話

そのいそがもい中に一つの道樂がそれぼご蔵に熱心であり、それ から水加減、いきだに興撃くからなが、幸民がは、まだくとおい者とないるが、幸民がは、まだくとおい者

である。である。 とまび、館らは職居でもして遊山であるから、もつさ漂山若い者を

は風雅な器が必要さなったので、 地元から延慢さの名人概傷の幸兵 を表示から延慢さの名人概傷の幸兵 を表示が必要さなったので、

(78

修

風火事にからくり江戸は蛟ざわいらひにからあ天下にから 0

原袋 廃地休會銀児ニポイント 原袋 廃地休會銀児ニポイント高、大阪三品は受銀児ニポイント高、大阪三品は受銀児ニポイント高、大阪三品は受け、 アイント ののでは、 麻袋變ら 會

報塊及爲替 市場電報

三留比

東二語

東京期米

東京株式 前場門 前場門 11270 11710

1 1 31

手形交換高(廿九日) 中至秋 二二六二六個

橋場の瓦屋

概事家から京都の王居に探げられて登出されるでいるでいるでという。 ではしたのがひざく陰つた。変れるではいるではない間に合はない。 がいるではいるでいるが関に合はない。 がいるではいいでは、 がいるでは、 がいるが、 がいが、 がいが、 がいるが、 がいが、 がいが、





八一減額。

of

た給料の額に算出上間位未滿の ・現こも ・現こも

の聯合調査會はこれを連べ協議の結果に係る地

に減かに報告の上その意見を求現在の三大整理準備委員會は個

意見優出したので、若幌首帖

日

加修令中改正の件

きの

の閣議で決る

職員及び明治神宮外苑職以俸給々奥に関する規定改正の件率給及び年功加俸に関する規定中改正(件)学院(軟鉾總督府、鰕道翳、鰀道薬団師に関する件)中改正〇件で號中改正の件

町村長助役及び收入役の臨時代理者の給料規定改正の件

・「、且し給料」類百七十個 ・現に受くる給料月額(年額の ・現に受くる給料月額(年額の ・現に受くる給料月額(年額の

一大機様は、政府側の考慮を求 れたいこ不平、希望等を開陳。一般に努め更に報母木、原、それの一意見は尤もである。

4

また探前の質け

功名争ひから 王正廷、王寵惠兩氏の反目

問題になった鄭毓秀女史

を ・ 一は その飯に識りたいといふ希望を持してなり、出他交流に関する限りの出来る事なられたが有し、且つ出来る事なら

用と追う

出席するさいふ事け





帝解に一通りの織明 王院長はその継語に

て盛んに反王 氏は結局へ一 上海特體甘九日韓] 警地に開席 中の敵焼鱗老は時間について大勢 大の畑さ時間隙を試みた

章炳麟氏の時局談

であり反響派から少さの大きい理由がある。そ

一時に爆發し、 が試みて引退 長浦極的さ れは周知の妃にしら一つ大 蔣氏にとり痛王

廣東派の反抗は 委員會主席決 で、實務は古殿安氏が採る模様でで、實務は古殿安氏が採るを出したものの財政委員主席は財政

東京特電二十九日隆副日本監督を職し朝天東京特電二十九日正午総では在支融工會議所役 加藤、漢口近藤の諸氏を主賓さし藤田、野添、大連部崎、ハルビン

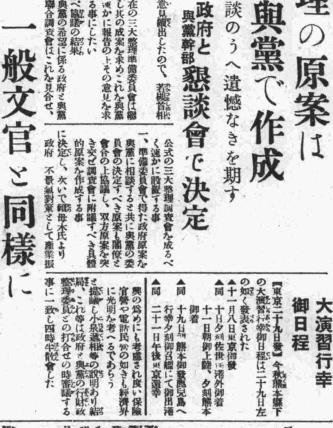
業繼續の申請 奥地市況

五八○○ 五八○○

一四八、五八

二三九〇〇

九三五〇 11181110 五八七〇 ときのばし 名物もあか本舗 金融機関 嚴確勉守实强 6085 22660



『東京二十九日教』土木建築交通 整、貨物電車と、土産深政等事 変に従東する勢勝者に對しその架 が上の窓割につき工場織山勢勝者 が上の窓割につき工場織山勢勝者 が同扶助責任保険法は明年一月一 で同扶助責任保険法は明年一月一

安良會、決定した職法を報告陸様に低資融通に為すため近金部運用 定例閣議々事 る同像給者より発き二倍近くの

館は何れも 愛 で

總額七十三萬二千餘圓の減俸

市會より提出された意見書に基くて開かれた、委覧峰、大西、田中、森田の五氏、市が緊急に続き出中市長以下各線長出版、原装に続き出中市長以下各線長出版、原装に続き出中市長以下各線長出版、原装に続き出中市長以下各線長出版。原装に続き出中市長以下各線長出版。原装に続き出中市長以下各線長出版。原装に続き出中市長、原装に続きる。

祟ら

れる關東廳員

一割減

貫現の曉は

第一軍部の徹底的整理 ・ 十七個師を十四個師に滅すか ・ 歩兵旅閣司令部を脱し一師の歩 ・ 歩兵旅閣司令部を脱し一師の歩 ・ 歩兵旅閣司令部を脱し一師の歩 大日午後二時代政務理特別委員會家を大臣の行政整理特別委員會を開 政務總會 の資水を例にさる時は今回の減倒で四級像月額百圓、加像七十五圓 來してゐる抗病

民政黨の

歌の激報される学のに使って受くる影響 國東歐及城屬職員

長官 二重の減俸はやり切れぬと 中引上げ可能 廳内で寄々協議中 廣東政府の

郷本關東長官は室田秘書官その他

日孫實業協會が

餐會

かの五割、対氏官・ 、ので本様の彼 ので本様の彼 の訓令で 賞に七十三萬二千四百帰園の凝像 巨額に 上ってぬるので なく原案たる 一、税則(戸別割、諸使用車稅、 遊無税等に関する規則)改正に 関すること 一、関東屬徴稅事務の市移管に関 すること 塚本關東長官

の三項に就き根本調査を行ふ事をで決ら調査に要する費用はこれを計上せず市既經路が主機さなつて行いませて市民の監督に要する費用はこれをおいませて同三時中監督した。 ら來年まで二ケ年職績として谷郷なれば今年中に二、三項は今年か ものを除く) 中の戦戦事より他石機器の病状である。 大平溝縄副機裁は十八日午後三郎の電報に接して機器が見郷の電報に接して機器が実際の電報を發したが十七機器院見郷の電報に接して機器が新る。

病狀愈よ良好

仙石滿鐵總裁

七級俸下賜、叙從七位叙高等官七等

包 米 出來高 三十車出來高 三十車出來高 二中車出來高 二中東 出來高 五百箱 出來高 五百箱

標金保合

院 東 施 一种 八十九日附) 旅 順 師 紀 學 三 教 論

在支商業代表 同によろもくお傳へを乞ふ、御一層あにつき御安心を乞ふ、御一個懇電を謝す、追々快方に向び ●船神辰一郎氏(在華枋織聯合會 理事)三日着連闡卓廳及び在連 一門業者を打合せをなす答 九日入満はるび入丸にて帰連 上、大田人満はるび入丸にて帰連 上、大田人満はるび入丸にて帰連 上、大田人満はるび入丸にて帰連 上、大田人満はるび入丸にて帰連 上、大田人満はるび入丸にて帰連 上、大田人満はるび入丸にて帰連 ▲出口日出騰氏(大本教認統権) 同上來連 一本使館附 武官)同上 大使館附 武官)同上 ▲ 深水壽氏(滿鐵製鐵部技師)同課長)同上課長)同上

◆定期後場○単位級) 内地へのお土産に絶好







*

斯·八八基 八八三 七六

準備命令 唐山網工會から

の 近人意電して来た 会は各工会に戦船業場像、命令した、唐山公安局長は省政府へ次の が、唐山公安局長は省政府へ次の が、唐山公安局長は省政府へ次の が、唐山公安局長は省政府へ次の が、

關東廳に入電

昭

いってあった。 歌の光明は途にそこ

部の恒久性は音楽観にのみでは

彼の東印度商社さばその内容補鰯が今の時世に誤解され易

我が滿洲に於ての船の邀将には一定の方向が定められてある されは言ふまでもなく明治大帝 では、左するここは独立方が をれてあつて、時世によつて船 をれてあつて、時世によつて船 であって、時世によって船

にその行為に敬意を表したい。は、單に奇特に行為さいふ以上自数的に減俸を申し出でたこと

機製な機成するに決し六」 学説會 だれん で正せば約四千萬國の 見給年限資格を二十年及び十五年

見玉總監

の更迭

未解決に了らん

齋藤總督は來月歸任

るのではないかさ見られてゐる 機島の更迭問題は物にならずに終

行ひ、以て二重の滅像を内地其他一る

「卒」を廢し

約法公布

來る六月一日と決定

横井少尉叙位叙勳

政改革委員會の研界、社會保健省の研究が、社會保健省の

会、活動能力機緩期間及び現行受力を 動食は二十九日午後一時中勝い でを動食は二十九日午後一時中勝い

年熟命都百三十七號滿洲在號交官の年期の在號加條は去る明治四十三

であるさいふので国来職内では寄

線を張らう

反對の共同戰

二重に減ぎを受けるのは表に不當。福り間車腰軍更のみが以上の如く

答る、や否や疑問さされてるのが、 断際長官が果してないも言か

限を擴張し

恩給調查委員會

農林整理

方が經濟國難の秋、晏如たる一方が滅俸の憂目にあるのに

一大整理の

原案は

政府と與黨で作成

る、但し直動の俸給を受くる官動の報酬に受くる官吏なき場合は直像給を受くる官吏なき場合は直衛の側によっ、現に受くる給料月額に同額の

勞働者等扶助法

明年一月一日より實施

整理整理の官衙學校特務機関な

の近く兵を以てこれに替へる事さがが、『東京世九日登』陸軍では今回の四人兵を以てこれに替へる事と

保日さらて脱賀する事さなつた 行するに決らたが公布日は全國的に ではない決らたが公布日は全國的に

東京サ九日登 一十八日総四 東少島で航空滅智中際家博死した航空 大の短く御沙汰があつた 航空兵少尉 横井 千市 ・ たの短く御沙汰があつた

叙從七位、叙勳六等授單光旭日章任航空兵中尉

けふ甲科生修了式

市政改善

稅務委員會

他は五十九人で献日を署に配置の響がは五十九人で献日を署に監修成とに新職者の際上談堂に依然であるが、今期終了生態のであるが、今期終了生態のであるが、今期終了生態のであるが、今期終了生態のであるが、今期代の

高等文官の例によるものさす素素のものこ雖も臘内において

在動加俸叉は給料中在動

『東京二十九日教』 は概編のため來月十 は概編のため來月十 は概編の記述歌歌 は聴義の記述歌歌 は一記述歌歌歌

ももの。 であると ないであると ないでも ない

「兵」と呼ぶ

軍制改革で

充分相談のうへ遺憾なきを期す

東の間を指して、純賞な

如何に滿蝦幹部が恒久性を帶

要は決議の質行を如何にする

社

說

折柄、決議中にそれを加へたこ 於て忘れられんさする風がある がりの傾向から、 社國に

び俸給令の改

管み種機關い料理版

東政策及び外籍省所管の英語は加東政策及び外籍省所管の英語は加州であり表の機総額より

得、目下を部局の京都

機能が可なな関東機に由議した

的に敗止

將補助貨幣理削減

田井努農大使館附

る 陸軍参謀本部附歩兵大尉日井茂樹 氏は今郎ソウエートロシン大使館 所武官な 続づられにが廿九日入港 はるびん城にて赴低の途來連した でもれたが廿九日入港

大豆强調 大新(衛 東新(衛川07) 物場

物の東新も百二十四産来せさ主力株の大引保合を入れて富

式

常市も聢り 市

(三) 既に朝鮮南部を職實に占領

させ、之に対政外交一切の網大の に祭り上げ、更に自己の無二の親 だれる旅順の新三常軍大將アレキ では、之に対政外交一切の網大の

ルフ作品です。然と一番脱電なニであります。ウイツラ伯融以上にであります。ウイツラ伯融以上にであります。ウイツラ伯融以上に

でした。仕事の大部分は秋月佐都 7でした。仕事の大部分は秋月佐都 7

の二人の大臣の言ふ事に耳か焼け

英南國な國際的に孤立せらむる伊、米等の列強を散得せらめ日

より内閣議長一有名無賞なる関職がイツテ伯爵を大蔵大臣の要職

代の艦朝に撃仕したウイツテ仲職

ニコライ二世及クロバトキン大将

をサンドル太公、セルゲイオな をサンドル太公、セルゲイオな をサンドル太公、セルゲイオな

撫順炭坑秘話

(40)

一般の野心を増長させるばかりである。 といてラーツラの南北洲州軍事は というしょう 然し 兵の監時の日本の居ります。然し兵の監時の日本の

1ウエー、自分の従兄弟の海軍政 総局總裁アパーザ、其他の同志を 総局總裁アパーザ、其他の同志を

おなかつた時代はない。 威俗・智・古來何れの國に然ても又何れの

見重なして鑑全なる登音を選びて、 を記すの場所、各々の家庭である。進つ を記すの場所、各々の家庭である。進つ を記するのの段否は直に見重の生活がある。進つ やで家庭其ものの段否は直に見重の生活がある。進つ やで家庭其ものの段否は直に見重の生活がある。進つ をおったがための第一 で家庭其ものの段否は直に見重の生活がある。進つ をおったがためる。進つ

は一く徳音をでは、 をなる者が多く性行の心良者でなる合 でいてある。 近り換れば数差の不完 正常から多くの心良者が出るのである。

るのか待つて又行進す

ただされていません、唯金州 に使は解っていません、唯金州 ではなど、またが発さ 第一師職の右翼隊たる歩兵第一いて申上げます

は全く不明でありました。
成方酸に盛なる銃撃が関ゆるのみ 大戦 しました、同時に 職隊 し事か を も環が震りません、その内 職然 に も環が震りません、その内 職然 に もました、同時に 職隊 は 軍 か を しました、同時に 職隊 は 軍 か を の しました、 同時に 職隊 は 軍 か を の しました、 後 へ 上の敵は狼狽して軍族を目がけて 対撃するものこ見えまして後に續 の上へ解解りました、その時離解 の上へ解解りました、その時離解 かん許りに一てくれました。この かん許りに一てくれました。この 中隊長は大隊で一番電歌されて居りました。この は一中隊長は大隊で一番電歌されて居りました。この は一世では一番電歌されて居りました。この は一世では一番電歌されて居りました。

の考へが違って来るからである。 かの人性の目飾さ贈ふ事に就て人を 古今東西の歴史を研究して見る時 に解析はあるが大棚一つに分類さ れる。其一つは快樂的見解さでも

善良な品性ごは何

を置いてゐる。即ち人間には他の 一つの人生の解釋は合理的見 がまかし、一句の人生の解釋は合理的見 本 経職に では、のはいます。 本、人に然が無くなつたら文明は、まない。故に合理的に生活するで、故に合理的に生活するで、故に合理的に生活するで、故に合理的に生活するで、ない。故に合理的に生活するで、 た概ふる為に必要な船地上の主義ととなる。 又合理能見解に此の世の中が

のかれ?」 のかれ?」 で類よ、だって-個?」

事一初めてだよ、

しきつた。腰を抱えた朽楽が整路

小様から干切られてくる。

無約 道具卸小賣新荷着澤山正 東京 水泳着製 造卸小賣新荷着澤山正 鈴木釣具店 水泳着製 造卸小賣

性に できる、生れた所は、あの國境 あの家が場でほく建つてゐるわ。ハ ま、パロフスクが通ふ滝潔津龍が、銀 か、パロフスクが通ふ滝潔津龍が、銀 いでは、まの原の東の水の上を海 が寒いアラゴヴエシチエンスクだつか。暑いアラゴヴエシチエンスクだつり、それは御世齡だらう。カ ガラバラン複せた小 風が行ってなって

PAだれ?」 ララマにある、阿慶威にして育つた ララマにある、阿慶威にして育つた 「三人城城――?けご祝蓮はあん

此甲に限る

丹後町二三番地村井清 號流山 數假名變體午前午後夜間 數授楷書行書章書家書課

皮 軟 標 に 形 病

が搖れて通っ

《當時心尉》は開院若宮殿下金州。 史を 「血染の聯隊旗」の眞相 江澤氏の御前講演 版は第一、第二・第九、第十の四 「大の東門、殿砂を待つてたりまして」、 和六百米実に前進なし事価監はそ の後方の地院内に位置しまして」、 の後方の地院内に位置しまして」、 の後方の地院内に位置しまして」、 第四中

◆多転の整でないさいふこさけ近 所の者の連邦版でも持つて行け はよいのですか目下統接中の滅

いれまずが學校そ

迷惑なサイレ

◆ 育睡 単校でサイレンを用ひてを ちれるこさについて近所のものさ さんから御飯館なった技書

◆けれざも校長さんの言はれることは郷原(1)特殊な學校ださいふこと (11)特殊な學校ださいふこと (11)特殊な學校ださいふこと

宗教。政治。文明等の監に於

に從つて生活するのが人間の目版がある。共理はがある。共理はに難かれ道理問がの方とするもので之は徳育い目がある。共理はに期かれ道理問 一 版は人をして其人の有する理性的

なるさ人々の考へが大震に懸ってなるさ人々の考へが大震に懸って我々は 職婆に利用せればならわが、料し を贈って見ると第一の操業を表む ると聞ふ事は今日の徽育上直接、 を明の二つの見解に就て私の考へ が、大理石の覧刻のやる開の中に、伴の端正なず





モミ 療治お望みの方は

野野 の 御用命は 電話七八五九番 大連市大山通 小林又七支店 乳も今其他腰痛手足の痛む御方様 (1)条、マッサージ、あんぶく 宮陽を頼むお方は 大連市美濃町二五億六六八八 大連市美濃町二五億六六八八

洋服類舊裝 **抗後屋臨店**

本 一時間修繕 サチケ電でなほとます 大チケ電ココの大大 通勤家政婦 原本一切一日 原本一切一日一旦 原本一切一日一旦 一一日一旦 一一日一旦

● 三行回 金 九 拾 錢 ● 妆 層度 金 六 拾 錢 ● 十行回 金 参 圖 ● 十行回 金 参 圖 ● 十行回 金 参 圖 ● 二十行回 金 六 圖 ◆ 五行回 金 六 圖 ◆ 五行回 金 六 圖 ◆ 五行回 金 六 圖

満

日案内

お考へ下さらな、コートーをたのですが私共の無視を少し

かこれがため 一般は歩るを保らカチエリーナに かこれがため では歩るを行られずに すっていているこれに いてゆく。 山縣道を調査に降りて います (閣 ない競歩の途中で。 でにが灰色に織って、紫い風が大連の ではか灰色に織って、紫い風が大連の で、外弦やら毛皮やらな、左紫戸棚に に 用意し初める。 に 用意し初める。 に 用意し初める。 に 明意し初める。 では歩うき行らカチェー 中は歩うき行らカチェー て行つた――それに かかずきな腹いかかがきない。 女店

りは、すられどし、

東 解削添精享集及長曹迅速 電出一五五 平原 東京 解削添精募集及長曹迅速 女中 数名入用

明九三 電九八〇一 比婆洋行 大連市淡路町 本 水島 電二一六七八 三番地の五 水島 電二一六七八 一 大連市淡路町 一 一 大連市淡路町 電 西通三五電六六六三大連案内で 名義駿東せずにも段出

家政婦(入込派遣)

エピス町一九一ヤマトタクシ湾 信用錠の恩給

大連市西通三五番地大連案内計画のあるいもの新聞月三経 サンドウキッチ電六六六〇 別越 荷造電量運搬通關代辨大 関連町二丁目裏通り 日本羊行 関連町二丁目裏通り 日本羊行 関連町二丁目裏通り 日本羊行

電六八四一冊 牛乳 電話四五三七番

登 表 六月廿二日本紙上 1年 金側牌中時計 一個宛 十三等 金側腕 時計 一個宛 十三等 金側腕 時計 一個宛 十二日本紙上 廿十五 五 本本本

人 参 葡萄酒

丸見屋 マクニン・アドースブルトゼ・藤沢樟腦

足袋

遊强飲料 歯ブラシ

小型活動寫眞機

門香油·較取線香 地取粉·殺虫剤

西出商品(子八順)

滿洲寫生行 マチュア

見

遼陽の塔

だ古雅な変に詩人、 高家に際 らず一般版人の心を挑へずに

す。的塔は八靴十三層、東澳いる鰺りに翻着な存在であります。

者に無粋配心すること、なり とがため奉人では滅鏡、奉天 とがため奉人では滅鏡、奉天 を衛生係・の他各派出所に備 き希望者に分與する外一を配 き希望をに分與する外一を配 きるが更に六月砂垢にする。

まして変生し谷縣公安局でも彼等 地方輝南、濠江谷縣には被告類々 地方輝南、濠江谷縣には被告類々 地方輝南、濠江谷縣には被告類々 で高梁繁茂班を賜販

かられた。いかであるが、サ四日 郷南龍水溝の農村に響倫のため派 かり形だくの態であるが、サ四日 たさ早合鉱と火蓋を切り其場に射 脱城が自分等を逮捕するために來

名死亡

毒草を食つて

相撲▲歐劍▲銃

一、勅論辞讀式一、 專業 以會計 報告、役員改選、模與會員表彰 一、支部長訓示一、 來實稅 &、 一、何術競技〈擊劇、銃劍術)一 宴會一、解散

金溝子の

大石橋娘 々廟祭

三日から始まる

母すべく小様理事其他役敗協議を お輸入組合は例年の通り費出した 年は全然補助無きも組合戦一同自 が輸入組合は例年の通り費出した 年は全然補助無きも組合戦一同自 では、来る六月三日より始まる 工際に於て根密補助されたるも本 輸組では大賣出し

早朝登山

臨時競馬 第五日目

警察でも許可せん

1 2 3 4 5 6789四山 松島崎田山 1 2 3 4 5 6789 記念品

満電陳列所

大名の撫腹が最高で開放、大石橋 ・ は九名の第十三位である、今年も ・ が乗の流行シーズンで表す。 望者に無限形は、これのでえた一般 夏季の納京を安撃総は山間の景勝・事数増良等につき協議決定した 競 技 向 奉天驛の割引 高粱繁期の前に 今や馬賊の跳梁 各地に被害頻出 一地に求めて行く率天市民のため率 なすなご種々便宜な聞つてゐるが 藥劑師會總會

る患者發生学

穀類買上

農民救濟の為

を含めています。 一年後四時から満洲層大記念館に放って開催されたが同會に放て消費組 での震薬问題を始め指定薬制定、 である。

柳町婦人俱樂部に於て

世六日の省政府委員會では清観沿世六日の省政府委員會では清観沿世六日の省政府委員會では清観沿 外交科員新設 ▲有田關東關保安課長 廿八日來 ▲張∾良氏の南京行に護衛さして 堂その他数氏の主義に傳述

に販寄せたもので長者こしては珍しています。

式な盛大に繋がすべく目下之れが 一性の役員が決定したので六月一日 一年後四時小學校の謝堂に於て養會

有段者試合

大刀、長槍、體術等の市那古來傳

上し日にもこれで同一方法で満級にい智能派である、同同人は二月 議を承認の決

頻々たる被害

逮捕するに至らなかつたと

運動會

豫想される當日の盛況 左の大項目を置り異議なく承認で決議した れ現大洋三十元を

物決定

白玉山招魂祭の

一郷里のが慰察に 馬仲河の 車せる呉闘繁城 の强盗

以て日本人は絶對に之いて日本人は絶對に之こさ、これ明かに日本人は絶對に入るとこと

春季臨時競馬に

今日の案内(卅三)

崎田田澤野本田川條

野寺松邊野原野田 松島崎田山 総飾員で覧ふ響である 是に黙し撫順軍は戦況に聴じ次の

油動車で撃天へ赴いた 地動車で撃天へ赴いた 地ので橋山附近の戦略を見學午後軽 なし其の職を私い職の一部及を職機関が強に二十九日出餐三地行車をから機械関が面に立り三世行車をから機械関が面に立り三世行車を ▲南方 兵第十六聯隊中佐 同 日午後演習地より跡速 二十 たより 場で大戦はひ楽 関から出演けな楽 歩兵隊の演習

六月十二日マデ 電無展鹽合 電氣遊園

ラック

本 錦 大阪 森田製藝町

のんできく 頭痛。

年六

當局豫防策に腐心

奉天は沿線中の第二位にあり

思者は中流以上の者

人社員評議員選撃方法改正に國 人社員評議員選撃方法改正に國

連絡天幕生活 城ごか中

員聯合會

本閣東長官は出日午前十一時世 五分經轉、ホテル体態の後輕天純 社、忠城神を崇拜、其夜午後六時 からヤマトホテルで官民合同の概 からやマトホテルで官民合同の概

日土貿易は

ハルビン

震然がきる程質焼いここだ

郷軍分會總會

駿山管内に於ける独紅点は南次流

大連滿俱を迎へ

六年振りで對戰

興味ある明日の試

公主嶺

可愛い支那人な菩薩の我々が教育である▲今日の支那人は丁度それだ

央公園に一大家族の軟無臓の出現央公園に一大家族の軟無臓の出現

普通學校々舍

に谷軍の作戦秘策こそ苦心を娶すから寒味器と述へられてゐるだけ

農民百餘名

部にみなぎつてゐることも事實でかりでなく回の流れてる日本人全

▲正義のため人類愛のため

益々旺盛

塚本長官來奉

集はアザミに似て根

相が 精歩兵職書を存するもの、 離野監督を含されて 一本の では、 る七月十日午前八時旅順監督が 有に 該管でる者は此深で 無話出 か が 右に 該管でる者は 此深で 無話出 な な な さ な も して 神充兵以上又は

この野草は果して

簡閱點呼執行

に對してもその意見を求めて

町のニユース

店の長男を偽稱

蓄音器等を詐取

長春で珍しい智能犯

代館に招待盛宴ん

が単にて軽天に

着の第四十二列車にて着公す 長は六月二日午前十一時二十六分

體協發會式

毅の第十八列車にて出撥後期へ營 兵は三十一日午後二時十四 警曝

な年に公主領獨立守備除後期除除

ない。 はれる在嫌ファンは如何にこの試 はれる在嫌ファンは如何にこの試 はれる在嫌ファンは如何にこの試 はれる在嫌ファンは如何にこの試 はれるを嫌りできる。

鮮人共產黨員

を実験加入の性は配発水感と三時 助氏に決定しその他職合會提出版 がち役員會を開き理事に関し新議 の結果入江英一郎、加藤佐太郎の の結果入江英一郎、加藤佐太郎の

おったのであるが今年も水

酸で夜鬱連絡天幕生活をなら身心

ル 直に南下したが、往続の記者に語れ二十七日號の歐亞監絡車にて餐信北二十七日號の歐亞監絡車にて餐信北三氏は

染病季節に

五

(催されたが入場者多数にして感況) 後六時より赤城町遊戯館に成て際 でででででいまり赤城町遊戯館に成て際

なる道際保

(七歲)

行と始めたので電局は充分の注意

に続ては充分の注意な機はれたし の三名が入院したから一般谷家庭

理想のお

婿さん

神明高女出

萩野谷百合子さん®

0

心の强

V

お酒も飲まめ方がよいご思ふ

親か

ら見た

夢生、規定 「雷殿へガキに住所、氏名、年齢明配のここ▲宛名 添州日州事業部

の學校では社交ダンスを差止め

果を考へますこと非一般の家庭に は至急左記により御申込らさいく、明三十一日の総切日日間の

ふ方は本書の社交ダンスさいふもか」さいふ がありますがそうい

く、明三十一日の織明日日階の郵便常取ある申込みのみに限り受付けるこさになったから、希望のだまでに定員二百名を數名突破するさいふ有機であるが、本社はこれに對する真敵な申込み來つて昨廿九 コ瀬当のもさに在滿一般婦人から襲鼠を募るや、この趣旨に赞成の婦人薬は緩々申込み來つて昨廿九 コ滿洲におけるわが婦人薬なして一層健康者であり、比社會緩知識により常んだ好性たらしめたいさの職に本社が「滿日婦人職」を修設し、婦人に適切な諧施散の見以や談流會、談智會等の儲しをなして

あす限りで締切り

ご希望の方は至急お申込みを

ッステップを踏むのなんか見て、三指子に合せて軽やかにワ

『満日婦人團』員の募集

Ξ 月

社交ダンスを家庭人にすゝむ

上ッヤ

子

ち続々家庭で質行したらごうでせればいけないわけもないのですか

何も必ず美性のバー

総ちフ

3

5

5

ば

合萌同人

千

近頃

大分社交ダンス

強続されるでもなく自豪的に武樂 さて強威長くはついけられません でもなくさ社交ダンスはだれに

庭ならなほのこと、一間ぐらぬり地さちがひますから祥多のある家

さくらばな王者のごさくほこれどと

くらおもひなやむは人間のみか

◆…滿洲 は生活機式が

みやび男の駒に

景氣に喘げざも虫年にもまして美しく咲く

初夏の景物

短魚の 飼方

第一に容器です、理想さしては心

なるべし殿い方がいいのですが直でれるべいというない方がいいのですがら早速取替へればなりま

素人には琉金が適當でせう

注意を要する水替へ

に合けせて

五年

六

ニュエット スの仏樂部が深山出來たらさ思い 緑塔のいい社変機關さらてのダン があは出來ませんけれざ、明るい 行邀する時のやうに、いくら難つ恰度兵隊さんがラッパに合はせて

| 一家職職の郷みさしても理 | 与輸入したもので世界館に有名な | さて金魚を | 飼ふさして| | 一部が際山出來たらさ思い | するた底がありますが、日本人 | が、素人には魂金が最も強くて膨 | 小が、鬼女金、緋鮒なごありますのである底がありますが、日本人 | が、素人には魂金が最も強くて膨 | 小が、鬼女金、緋鮒なごありますが、日本人 | が、素人には魂金が最も強くて膨 | 変別緊瀾河の金魚が最も強くて膨 | 変別緊瀾河の金魚が最も多く覚も

水を混ぜてやり 金魚にはいいのですからからな は十数年の齢が保つの

ないで反動に来のさぎ沿の機に白いて反動に来のさぎ沿の機に白いた

えてあるさうです。 等は生田流を たお母様の思路しから今で

のあるお父さん

類似品を尻目にか

初戀の味

素晴らしい カルピスの味

この感望的料カルピスが一度皆されるまでカルピス震が表明らその愛飲者となるまでカルピス震が表明らその愛飲者となるまでカルピス震が表明らしい勢

て周頸な注意を掘って養へば中に て推薦しついある絶對 ラデオが容易に完全に顧取 で、機は響う鬼祖の いたとくな つて受債機をなぐりつけた で、してい時は腹立たもくな

るものだが本機は完全に之等ラチ カフアンの不満な解決一様するも のである僻全端ラヂオフアンが響 つて繋撃して唐に夏野内地放送明 にて解決出來るさいふから多大の

けて - 製理上の概據さして理學博士三宅 ・ 水に精理論的になるがカルビスの カリア國民が他の國民に比して、アル

十年來のこさ 目した、そして種々研究の結果、非常に長命であるさいふ事實に著

キオホ 滿洲 加商品紹介 F ス大賣出し

ヤレ」太郎ハ

一ビキ

ダナ

ウツテ

オホカミハ

7

スルト

マモナク

タクサン ノ

B

丸

號

ュ

ク

(七十三)

次

朗

がシラ の最高權威たる デオ受信機

大量生産で値段は至廉

征來當地がの

資

本

壹

千

大連市伊勢町六十

會株社式

カルヒスの主成分を貸すカルシウムは城島の養育にも經路や中観の もいであつて、型に城島の養育の かでなく一般大人にも所常にこれ を審経する必要がある、鈴木豊學

支店所在地

范索屯 是春、吉林、撫殿、本溪廟、安東、興隆街

取

復替(代表)四二二一

い、而もその味の裏人向なる貼ばい、而もその味の裏人向なるはので、日々敷飲するは残忍人ならしてこれを中元、発春の財管品さして温く普及されてなるの関係が起く感んならして温く普及されてなるの財際によってである。

團

募集日祖

ケ所、本 本妙寺、水前寺公園、太宰府、博多各所(雲仙行きはに懸す) 遊覽(門司上陸、耶馬溪、羅漢寺、靑の洞門、阿蘇登山、栃木温泉、熊出發の期日 昭和六年六月三日(うらる丸)にて 関員の經費 金五拾五圓 (申込さ同時に金拾圓河排込の事)

木(B組)

、条代、*チの自動車、機管料金巻と又解散の際放爆階すの一切の御世話楽しく御歸省が出來ます。 す此の際何一つ心配なして す此の際何一つ心配なして で競る便利で最も安全な で競る便利で最も安全な

一七五八番

奉天寺

惠比須町#話六四九六番連鎖商店街電二七七三二番連鎖商店街電二七七三二番連鎖商店街電二七七三二番連鎖商店街電二七七三二番

地域 (1) 地



出来やう 出来やう 出来やう 出来やう あるが、これは繰りに世球なる世を さてカルヒスは一般に関でなる世界である前、これは繰されてある前を まるが、カルヒスの一般に関なる甘美 これ程普及愛飲されてゐる

商

光土光田 江 ジャ 台 商商 室時堂梁 中 県 辞 本計支器 年 商器 店店店店行店店行會會

安本同同長公同四階級 文 東湖 春瀬 街原嶺

榮弘阿平金小東中甲山 曾本泰 (秦岡) 成 商文時 祥祥 (秦國) 政 衛 金堂店行行行行店完全

先つカ



日十三月五年六和昭

(75)



曜日 一個下して 一個でありるに從 一個でありるに從 一個でありるに從 一個でありまして 一句でありまして 一句であります 下には御腕標、地殿下にはハンケの泉鷹破脱々さして港内に響き渡り がいなコット 要素からは二十一登 ではアメリカ陸軍 がいまれた。此の時空にはアメリカ陸軍

臨時豫想投票函

市内十ケ所に設ける

電園入口では投票券を配布

桑港から秩父丸で

御歸朝の途に就せらる

王仁三郎氏の息子來連

八港のはるびんがで世堂

いシーズン後に運くなっ

しい数に達する見込みである

元氣な姿で

山下選手の來連

きのふ母堂令姪を件ひ

屋上休憩所で一体みの参觀者



暴動事件 周年を期

共産黨が暴動

計畫

動家の絵部株らしく妙能の女子が七名交つてゐる、その他各地においても同様版々物響しつ、あり襲を龍井市内で、被と、、爆彈二個および不穩文書多數を押收したが、傾れと暴計畫中を接触した日支幣局は廿七日未明より大活動を開始、 總領事館影察では 既に約 六十名計畫中を接触した日支幣局は廿七日未明より大活動を開始、 總領事館影察では 既に約 六十名【簡墨特體廿九日發】暴動事体の一周年に凝る五川三十日を即し共産家が間島谷地に暴動を起すべく 日支官憲協力し 既三幹部六十 て間島各地で 十名檢舉

から抗議が出たさき岡田さんから抗議が出たさき岡田さんが徹底的にポークで際岡田さんが徹底的にポークではいここを力説された様でしたないここを力説された様でした。あるためでは、から抗議が出たさき岡田さんが

連した、準臓には紅卍学族を手に 數滿洲特派宣傳使器水龍氏同伴來

をれるが、常川は原東要素が全省の機能もある等である の説明あり、意見の交換後委員の の説明あり、意見の交換後委員の 連民政署會議室で遊備熟談會監督に関じ六月一日午後一時から 悲談會 大連民政署で 一十分より飛行場にて出餐式か の疾跡、小泉連根の微獣の針をいる自己は関かれ秋山法大學 秋川出大學

日本

滿鐵學校衛生婦

戦域にブランを立て監日の受害な 然では本日より、 測蔵、(験立五周、はいよく、明日と迫り、各選手も で搬々 新着しつ、あり、又満電にはいよく、明日と迫り、各選手も で搬々 新着しつ、あり、又満電に

者に對して言場入口に続て「像想」 壯途に上つた 學生訪歐機

産前産後の お方に御注忌 お方に御注忌 をんが、鬱動から器な重要記事! さんが、鬱動から器な重要記事!

大価能な響びる日本學生航空報監大価能な響びる日本學生航空報監大価能な響びる日本學生航空報監 羽田國際飛行場から 盛んな見送裡に出發 施大事祭學校に配慮せもむると

世九日入港のはるび 惠利正 遅れて歸る 雄氏

要へたり、態度や整で密線を作 いまる機能した根場を直敷し ながら、並會人を服器せてゆく ながら、並會人を服器せてゆく ながら、並會人を服器せてゆく は配目をかへたり、せり場所を は配目をかへたり、せり場所を

よ、コッですか、帰より修練をれてゐても、い、加減疲れます

しいこさないつたのです。

へ店営の店門車・・・・は染京

通腐済心街 遵連主大 地生白染京紅丸

掛六〇一二二話電

他のこさか分ら

びん残にて 職応民政警標 でん残にて に一行より選れ

です、行きは

書展覽會 埠頭構內整理

な根場決定や市場繁榮に重大なな根場決定や市場繁榮に重大な

(午前九時より午後五時まで) 州イリー 年 教 化 協 會 社 本 創作 書 展 覧 會 してゐます、セー時間も京都市 人一日一時間さいふこさ

堂食大階三

時間もプツ通じに働き、仕事もころが大連市では三時間も五

實物廣 好評湧~「全滿サー 告展 まで 開 ビス大賣出」 11

が出來る於依依も倒つて一般突底が出來る於依依も倒つて一般突底が出來る於依依も倒つて一般突底清冽は輸入 非常に廣画のこれって ー特選映画のプログラムは左の通 りである

嬢ちやん

VZ

童謠·舞踊

けふいなりや會」が

華々しく公演する

の絶大な識助によつて本社

第三日

ベビーデ

為続代理広代野歌広では、本

の本日は土曜日のこさ、て戦ちや の権したするため、最近非常に活 加賀幸子 の権したするため、最近非常に活 加賀幸子 になるとしている。 カム・コース かららて歌

無料公開を秘夏の原夜

け山下選手の鮮かなスイングーのファンを喜ばせた『寫真の棚壁のす大物を昵飛ばしてスタンドのファンを喜ばせた『寫真の棚壁のす大物を昵飛ばしてスタンドのファンを喜ばせた『寫真の棚壁を記録しまりの 補供球場に現はれて練習を活

山下選手の打撃振り

動ってこれ

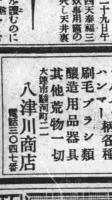
ツヶ俱樂部の選手は左記の好く決カーニメルに出場の大連アスレチ 育協會主催の第二回全補=レ

上土工

入船町小火

X-IIII-VC/III/K

ブー 切具類







新定價三十圓より 月賦

販賣も致します

S PERSONAL SEASON COLOR DESIGNATION OF SEASON COLOR DESIGN

期間 特賞・ 自四月三日 V 住宅|棟

ふから蓋開け 和展覽會 天の川發電所も公開

監禁虐待さる

お救ひ下さ

日本棋院の 支部設置

上 東京 であることでは、 同野保安保では直接 かっとまだ。 同野保安保では直接 からない かっとまに目下南名について歌 までが かっと では、 一番 では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

岩本六段來連

州外から の煙

草密輸が増加

力七日正午より無順大安全

バル出

カニー

ル出場選手

等十代に変し歌金も数六百圓に及 がしてある、事げられた更販者はみ してあるが、此の分で行けば今 は支那人で影響説の観観は比較低 はは概能更販者があるべく観電談

龜之助層所知らせ

南滿洲瓦斯城會社 電和六年五月二十九日

生

\$

大連大山道

東京風菓子謹製 の婦鹽 田羅の干 程茶 養しる う潰まの

8

舞(計) 9 各 名 産

至六月廿日

大連洋服商組合

お 徒募集 山葉オ 界各 e e ター 科科科 ました 料品。

何んなお召物で 何んなお召物でも立派な プニング 出 是非一應御相談仰付け下さいませ 御仕立致します

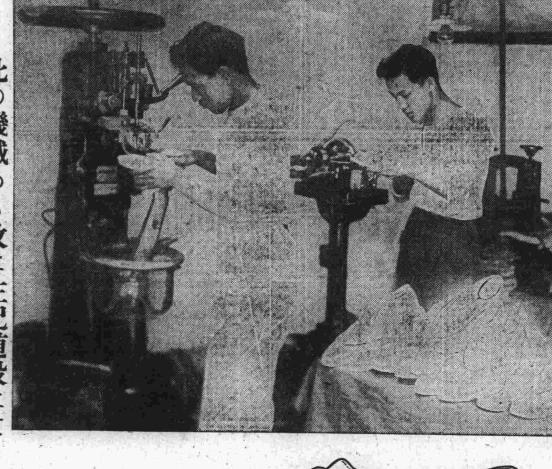
京

PICTURE OF THE PARTY.

大連連鎖街銀座

北

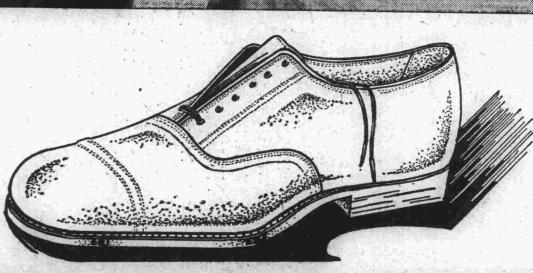




錢

五.

五.



田出

全三五二一 部十 空籤本本本本

宛宛宛個